

底辺おじさん

伯爵夫人編

R18

成人向け





イリス王国南部
中堅都市ダレン
アーベル伯爵家

それでは
行ってくる

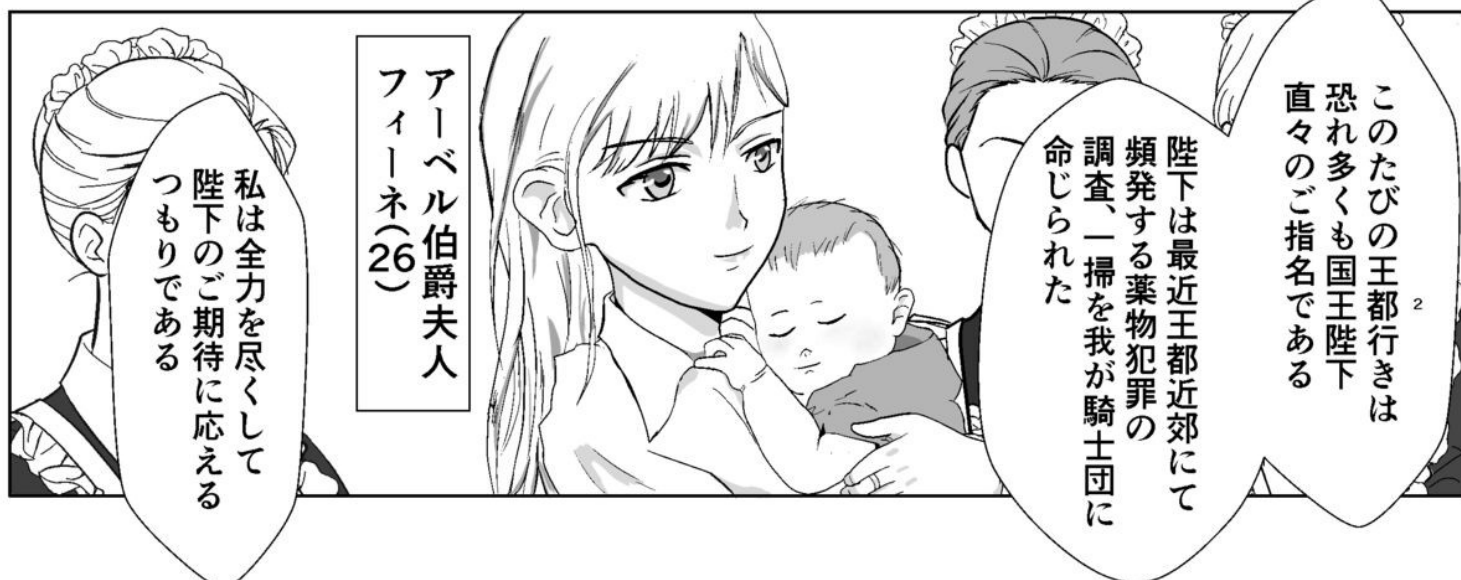
いってらっしゃいませ
旦那様



しばらく
領地を離れる
ことになるが

留守の間は
よろしく頼むぞ

はっ！
お任せを



このたびの王都行きは
恐れ多くも国王陛下
直々のご指名である

陛下は最近王都近郊にて
頻発する薬物犯罪の
調査、一掃を我が騎士団に
命じられた

アーベル伯爵夫人
フイーネ(26)

私は全力を尽くして
陛下のご期待に応える
つもりである

父上……

おお
カールか

フィーネ
子供たちと領地を
よろしく頼むぞ

ええ
任せて

こちらの事は
心配しないで
存分にお務めを
果たして来てください

カール
私が留守の間は
お前が母と妹を
守ってくれよ

はい！

私は幸運な男だ
お前のような
聡明な妻を持てて

頼りにしてるぞ

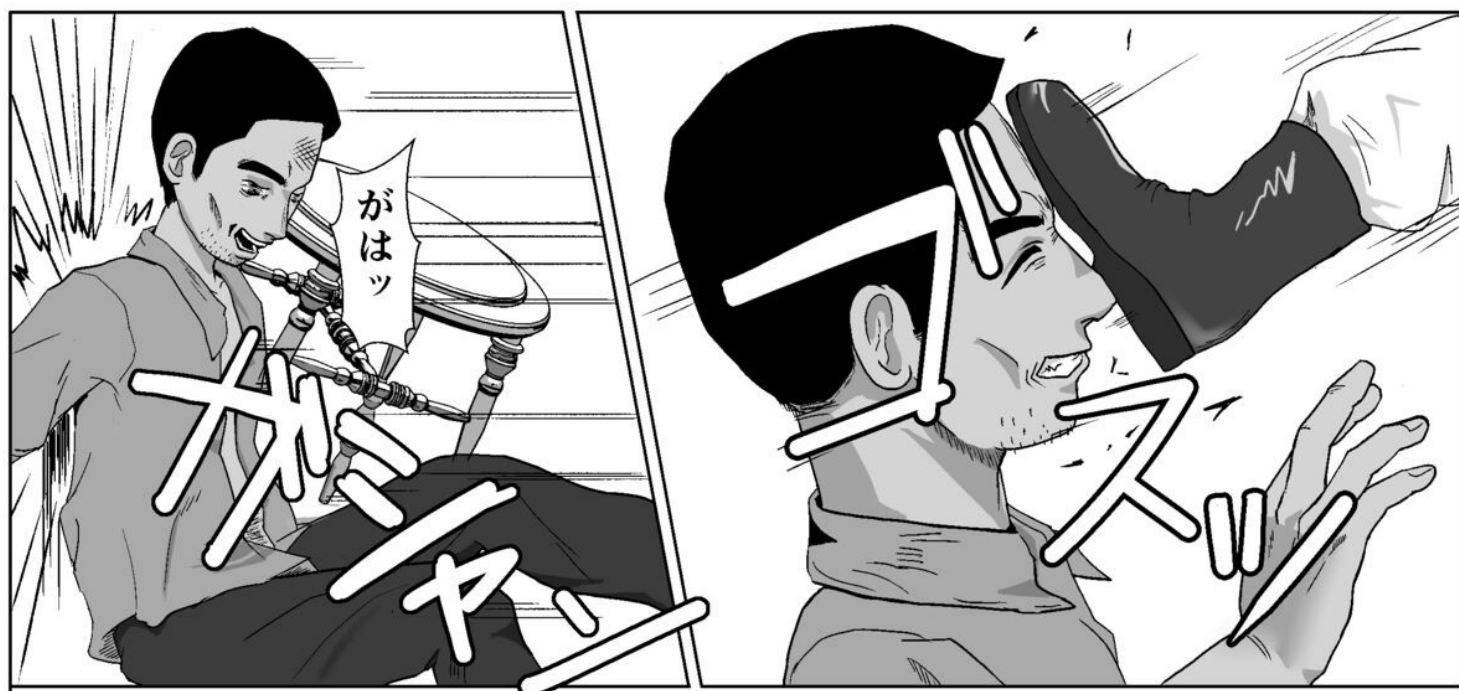
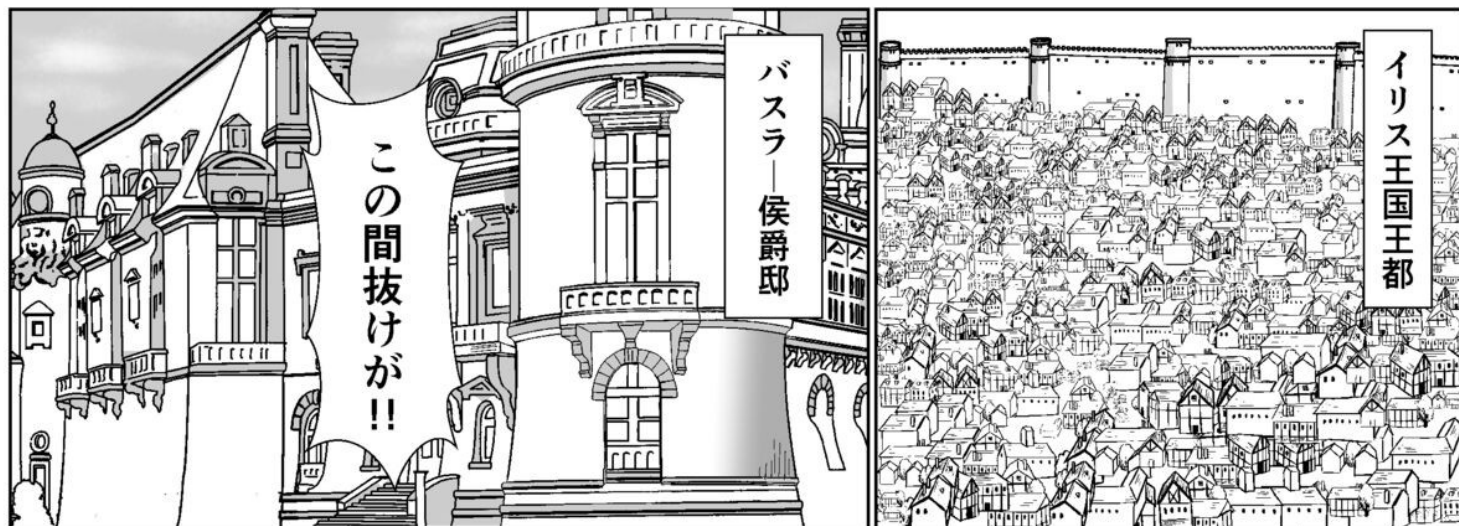
行ってくる

お気をつけて……

愛してるわ

あなた
どうかご無事で……

ガッ
ガッ



…しかし
違法薬物の販売量を
増やせと言ったのは
閣下ではありませんか

私はこれ以上増やせば
衛兵の目を誤魔化せない
と何度も申し上げた
はずです

ええい
言い訳をするでないわ
この無能が!!

お前が上手く
売りさばいておれば
何も問題は
起きなかったのだ

貧民街で
拾ってやった恩を
仇で返しおって
この下民が!

無茶言いやがって

国王と宰相の派閥争い?
宰相にゴマするために金がいるだと?
そんなの知るかよ!

どうしてくれる!
これでは宰相様にあわせる
顔がないではないか

しかも陛下は此度の薬物売買
について首謀者を徹底的に
調査すると仰せだ
くそっ
厄介なことになったぞ

へっ ざまあねえや
…んん? よく考えたら
俺もやべえじゃねえか!?

チッ
面倒だが仕方ない

カチッ

お前はすぐ
ダレンへ行け

肩書は商人だ
身分証と紹介状は
用意してやる

ダレン…
アーベル伯爵が治める
南部の都市ですか?

そうだ
あの忌々しい
アーベルがな…



ふん、目ざわりな奴め
だが武勇に優れ、品行方正
貴族社会での評判は高い
陛下のお気に入り入りで
何かと重用されとる

陛下は
今回の薬物売買も
あの男に調査を
命じたようだ

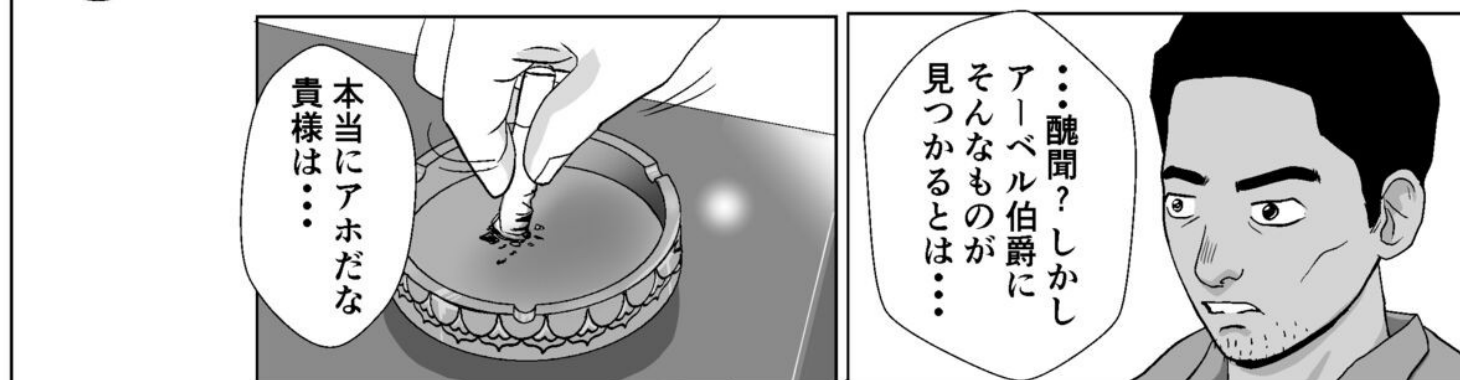


侯爵たるこの私が
あんな男に
遅れをとるとは
思えんが……

念のためだ

お前はアーベル家に近づけ
そして奴を脅せる材料を
探してこい

貴族生命を
絶てるくらいの
とびきりの醜聞を
見つけてくるんだ



本当にアホだな
貴様は……

……醜聞？しかし
アーベル伯爵に
そんなものが
見つかるとは……

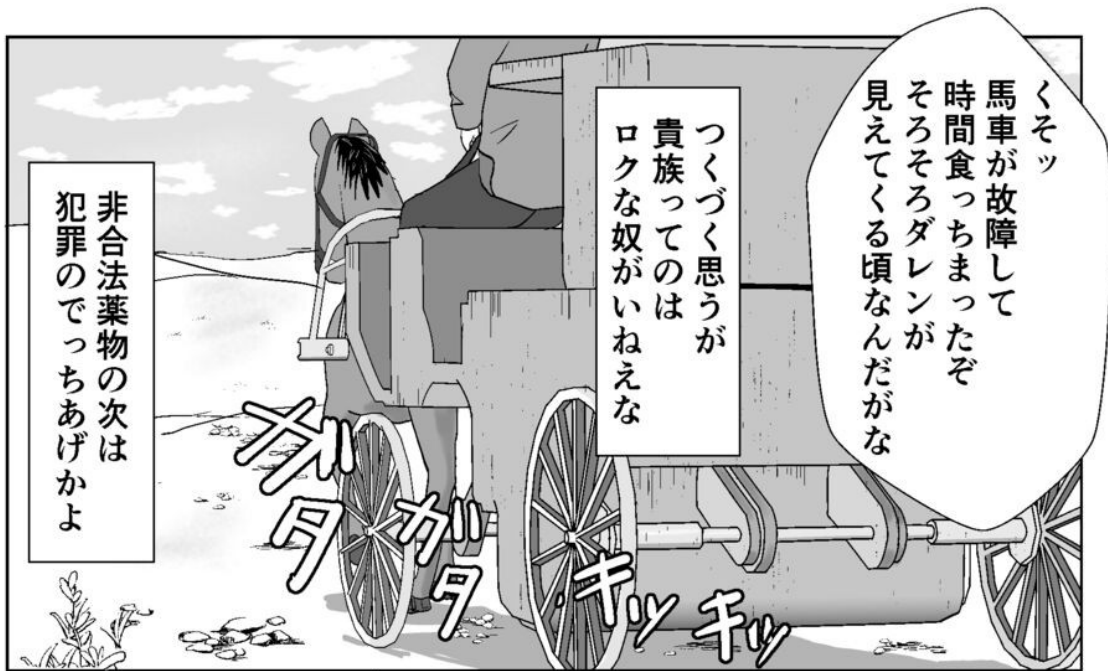


無いなら
作ればよからう

そうだ！
あいつの屋敷に行って
違法薬物をばら撒け

ひひひ
俺の罪を
なすりつけてやろう

いいか
こんな簡単な仕事も
しくじるようなら
お前は飼犬失格だ
切り刻んで豚の餌に
してやるからな！



くそッ
馬車が故障して
時間食っちゃったぞ
そろそろダレンが
見えてくる頃なんだがな

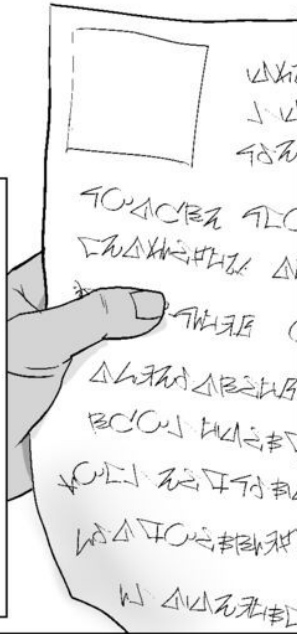
つくづく思うが
貴族ってのは
ロクな奴がいねえな

非合法薬物の次は
犯罪のでっちあげかよ



まったく
どれどれ

アーベル伯爵家
九代続く名門貴族家であり
当主はエメリヒ・アーベル
王の信任厚い保守派貴族



現在当主は不在
留守を取り仕切るのは
フィーネ・アーベル夫人

出自は東部の大貴族
デイツ辺境伯の長女
知的でその美貌は
『ダレンの白百合』
と評される

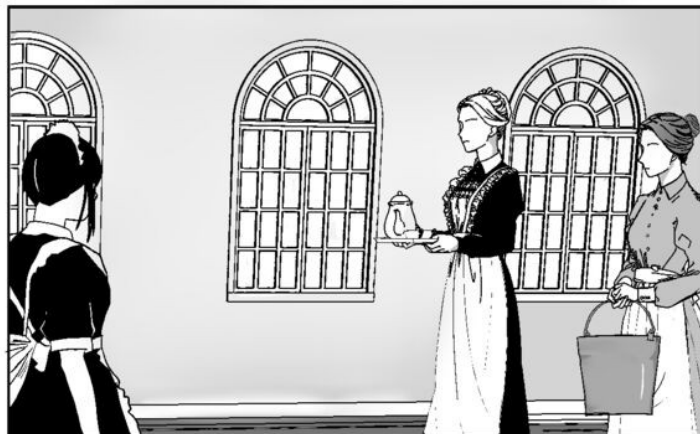


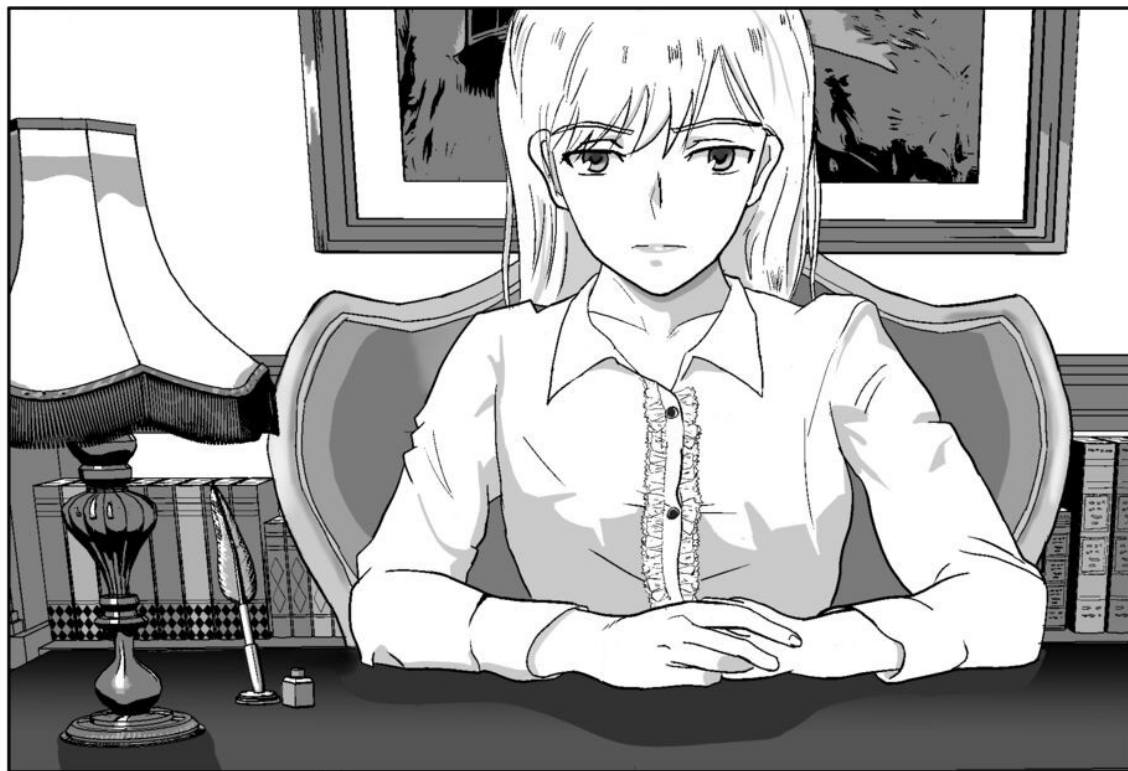
へッ
大貴族の娘だか
なんだか知らねえが

はあ
くだらねえ

こんな仕事
さっさと済ませて
酒でも飲ませてえよ

要するに
鼻もちならない
クソ貴族様って
ことだろ





は、はて本当の目的とは……
私はマジックアイテムを
扱う商人でしかなく――

バスラー侯爵が
アーベル家に
良い感情を持って
いないことは
知っています

あの方は
お金と権力にしか
関心を持ちません
王都でも黒い噂の
絶えない人物

そのような人が
紹介状まで書いて
いきなり商人を
よこすなど
不自然極まりない

何を企んでいるのか
さっさと話なさい

部屋の外には
衛兵がいますからね
逃げようなどと
思わないことです

くうう まだ悪事も働いて
ねえのに決めつけやがって
推定無罪だろうが

くっ
信用なさ過ぎだろ
バスラー侯爵

まさか
企むなどと……

平民が
貴族家を相手に
嘘偽りを申せば
ただでは
済みませんよ

やばい、やばいぞクソツ
挨拶ついでに隙をみて！
違法薬物をばら撒くつもりが
これじゃできねえ

なぜ黙っているの？

それどころか
これだけ警戒されたら
今後は屋敷に近づけない
可能性が高い

失敗したら
今度こそバスラー侯爵に
細切れにされちゃうってのに……

ふう
時間の無駄みたいね

手荒なことはしたくないけど
仕方ありません
衛兵の詰所で厳しい取り調べ
を受けてもらいましょう

た、逮捕!!
どうする?
どうするよ俺
……ダメだ何も思い浮かばん

ああ畜生…

11

なんで俺ばっか
こんな目に遭わなきゃ
なんねえんだよ

なんだよコレ…

ぞや…

どういつもこいつも
好き勝手に言いやがって

余裕かました顔が
気に入らねえ

平民は虫みてえに
這いつくばって
抵抗しないのが当然で
面しやがって

貴族に手を出したら
極刑だぞ！

バカ野郎!!
何考えてんだ俺！

はっ
はっはっ

ま、待ってください
フイーネ様

正直に話しますから…

くんっ



そうです

映像を記憶させる
マジックアイテム……？



ああ
ご存じありませんか

まあ
あまり一般的ではない
というか
この国では禁制品の
マジックアイテム
ですからね

ガッ

!?

遮音性を高める
アイテム

今 作動させました
これからしばらくは
この室内が完全防音の
領域に変化します

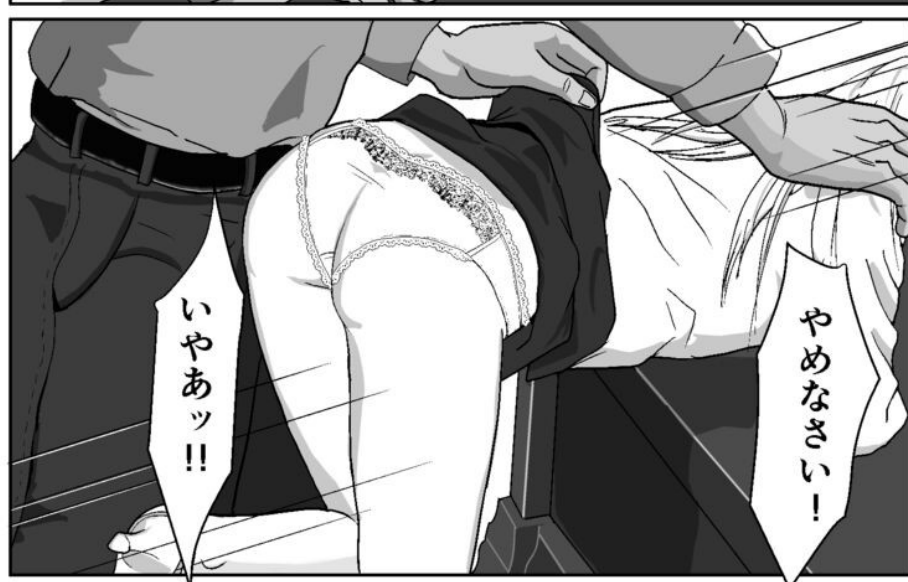
拷問とか
変態行為とか
色々悪い事にも
使えるから
便利なんですよ
コレ

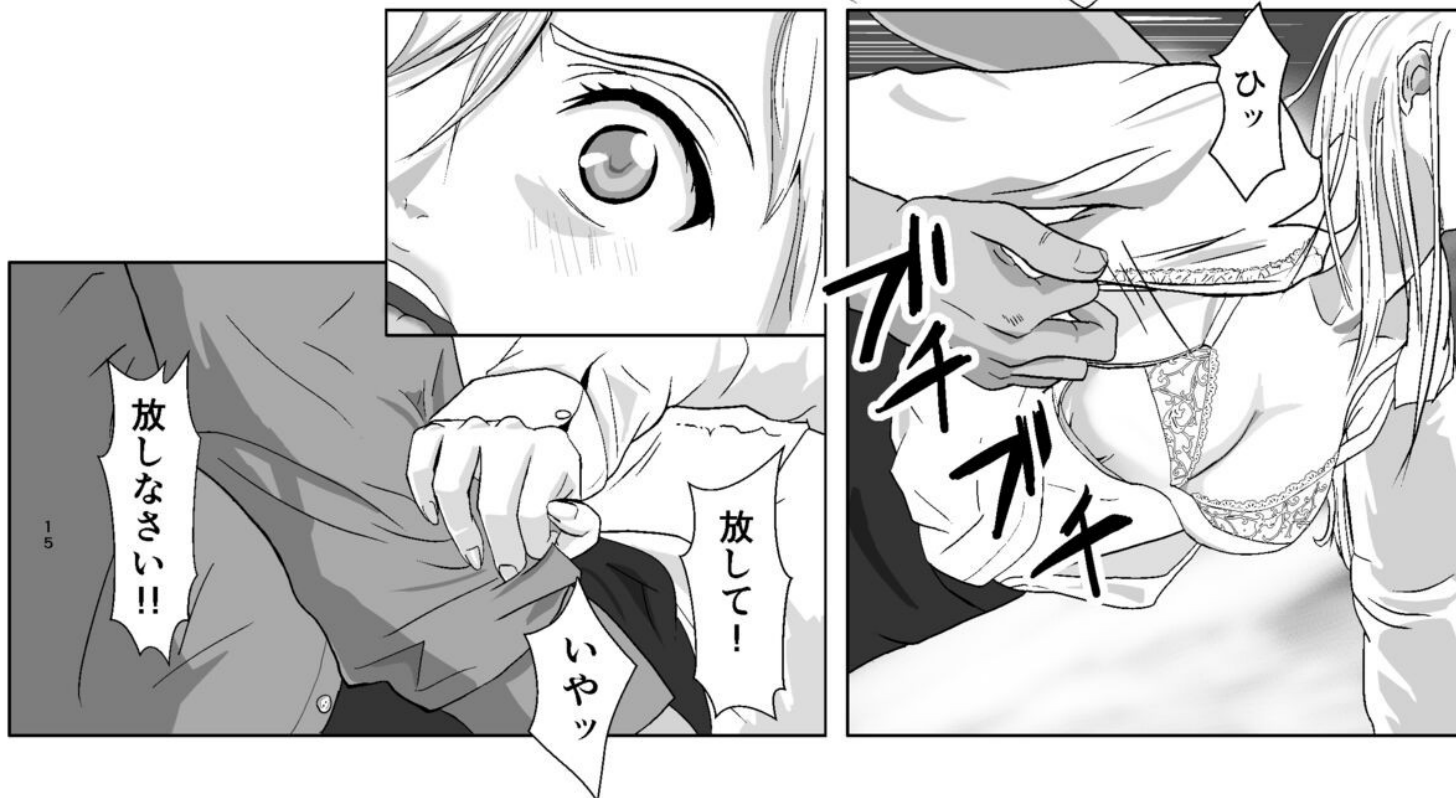
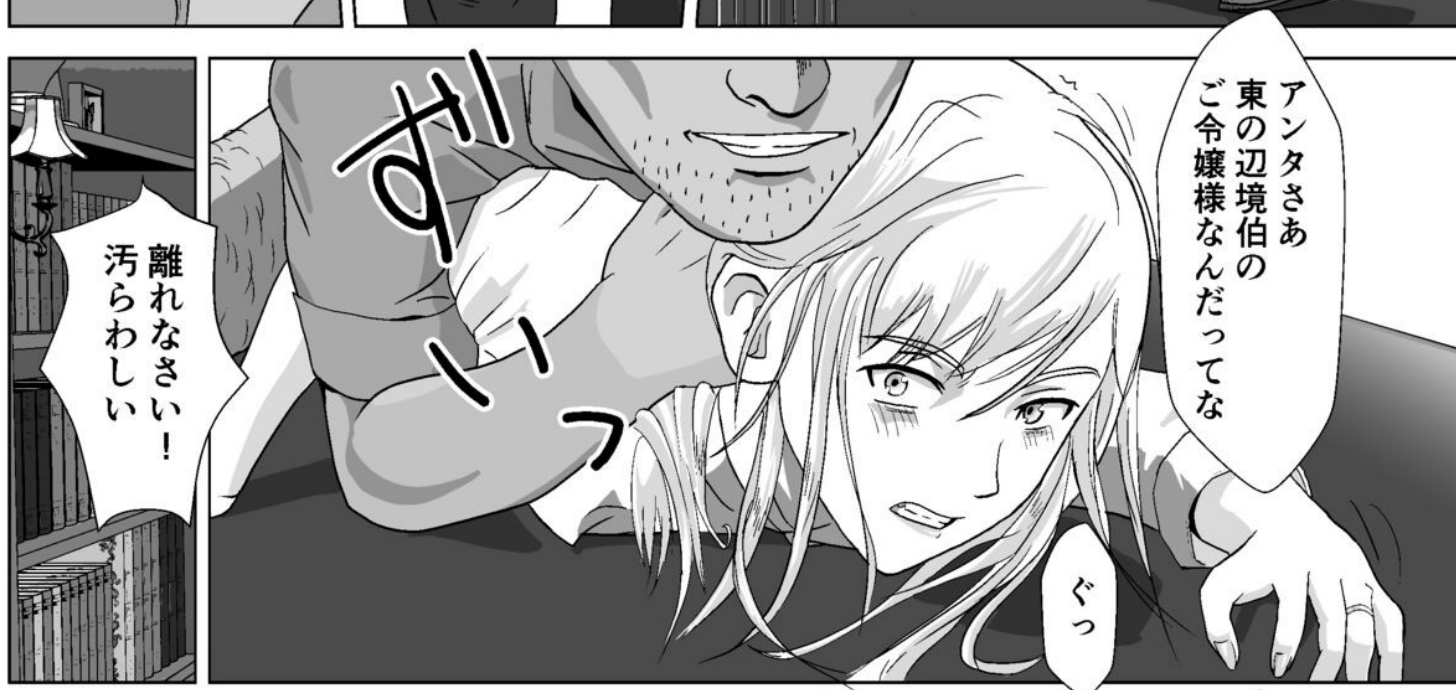
しかも防音してても
外からの音は
ちゃんと
聞こえるんですよ
不思議でしょ

衛兵!!

ガタン

無駄ですよ





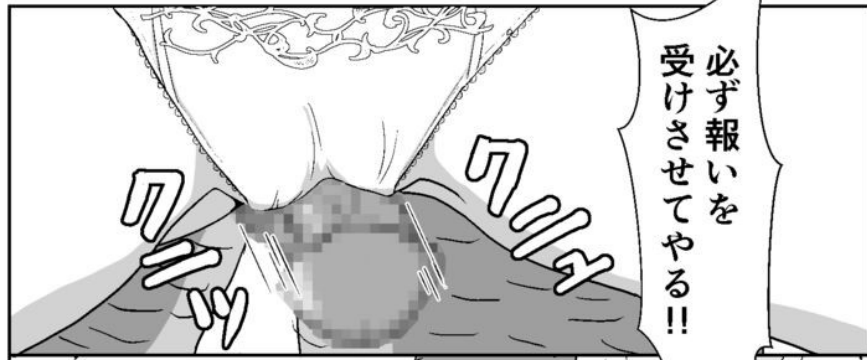


平民風情が
このような...

か、覚悟しなさい...



死より重い罰を
受けるがいいわ!!



必ず報いを
受けさせてやる!!



絶対に!



誰か来て!!

衛兵!

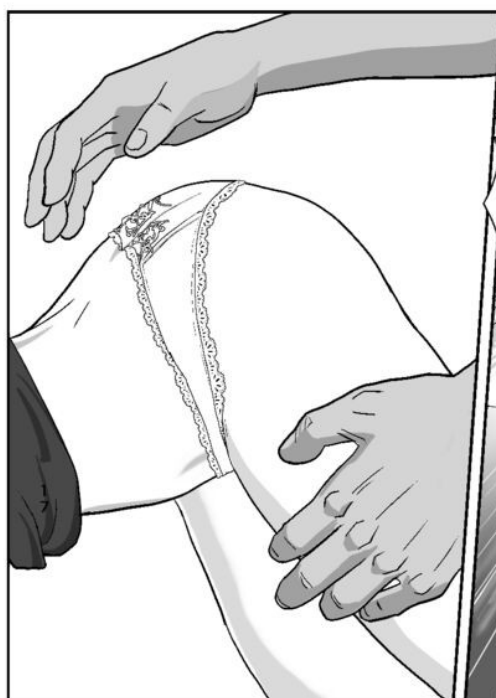
いやッ



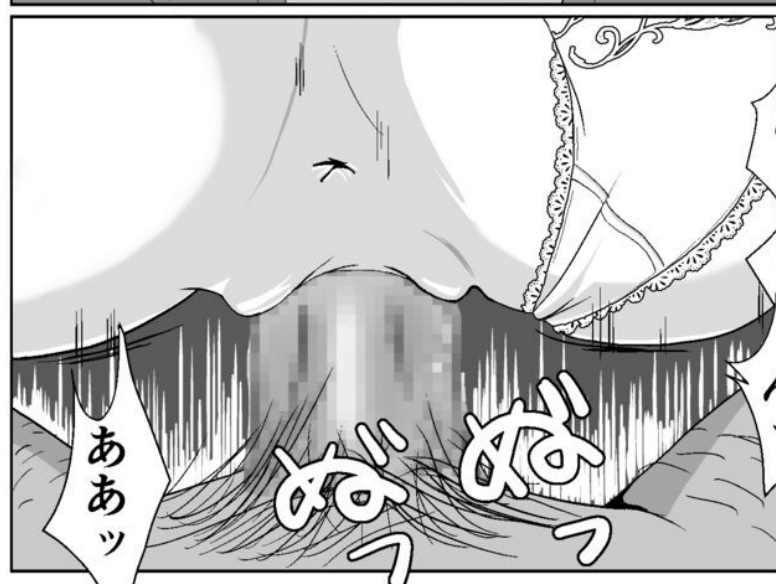
貴族のご夫人様が
ジタバタすんじや
ねえよ

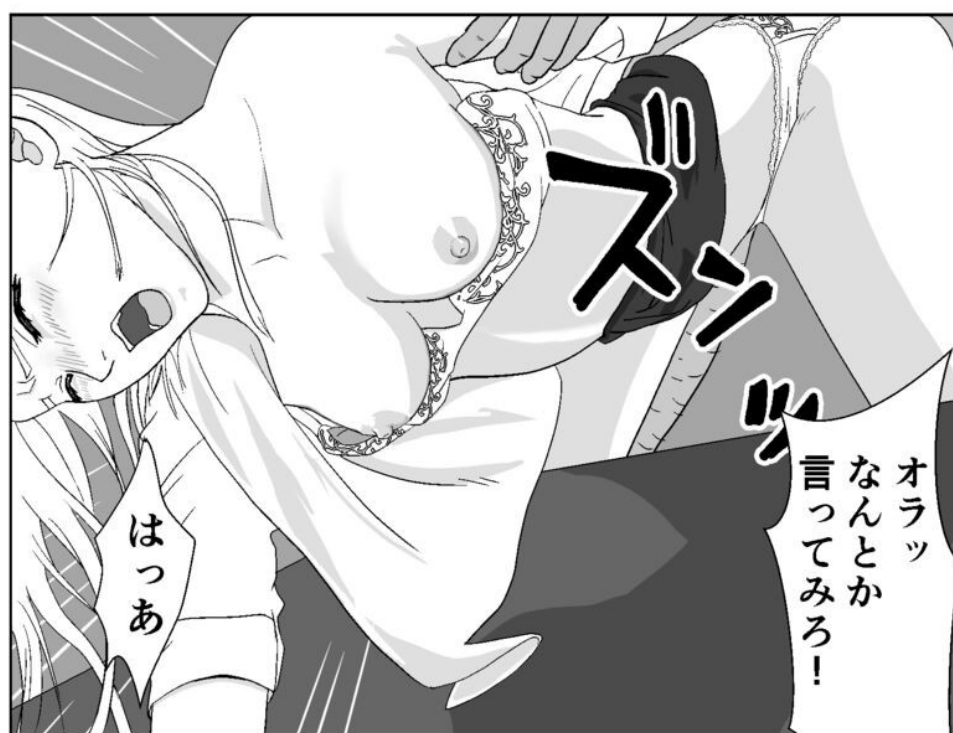
おいおい
はしたねえな











おらッ
どうだ高慢女!!

ドチュッ

はッ

はッ

ドチュ

かはあッッ

ひひ
奥をどつかれるのは
慣れてねえみたいだなあ

苦しいか?
泣いて懇願するなら
止めてやるぜ

うぐ……

この下郎……ッ

陛下も一目置く
ディーツ辺境伯家に
生まれ

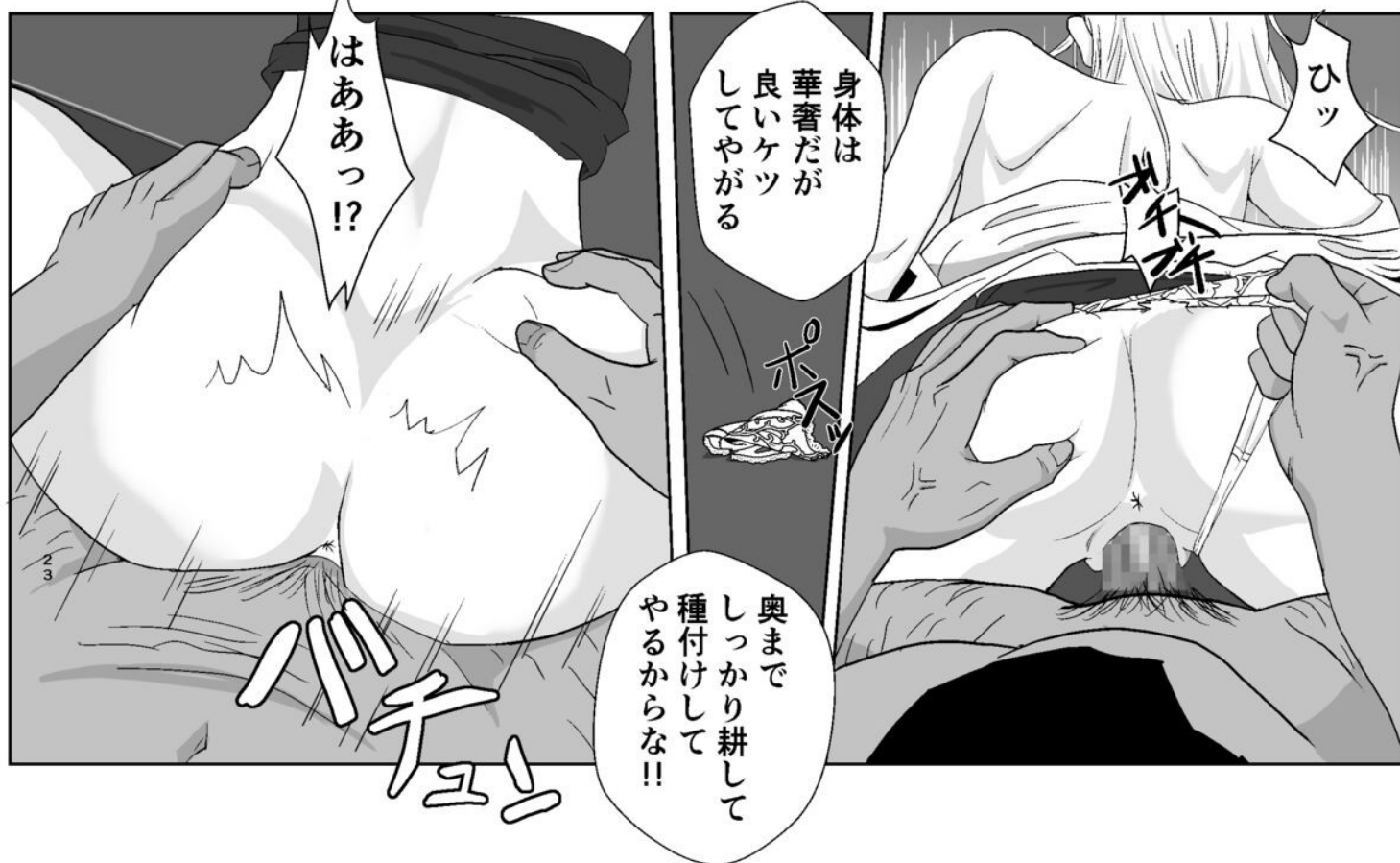
高潔にして誉れ高き
エメリヒ・アーベル
の伴侶である
この私が

下劣な犯罪奴隷
ごときに!

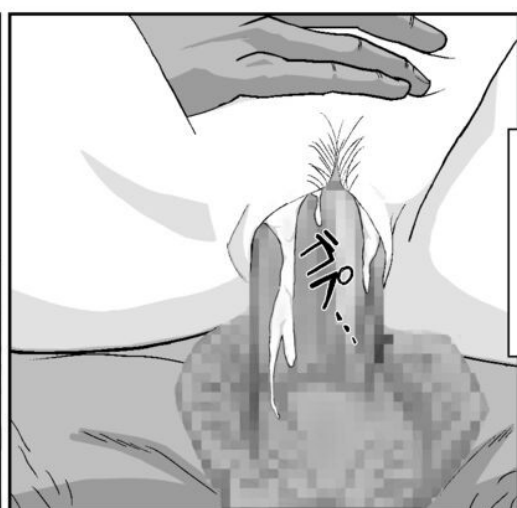
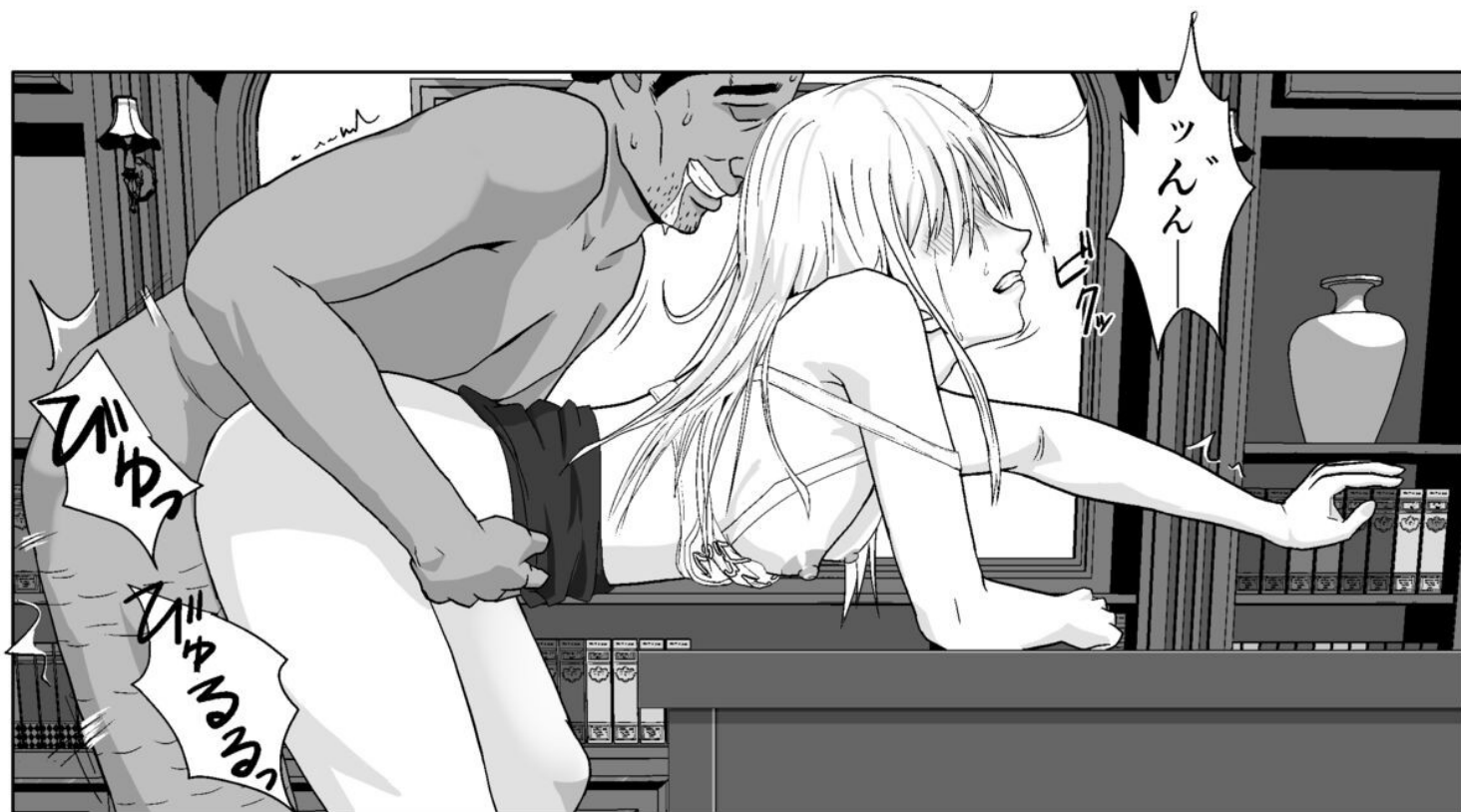
っんん!?

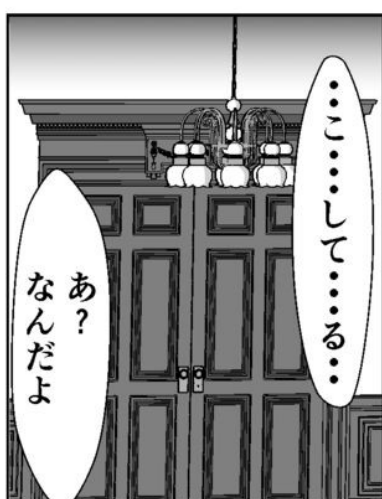
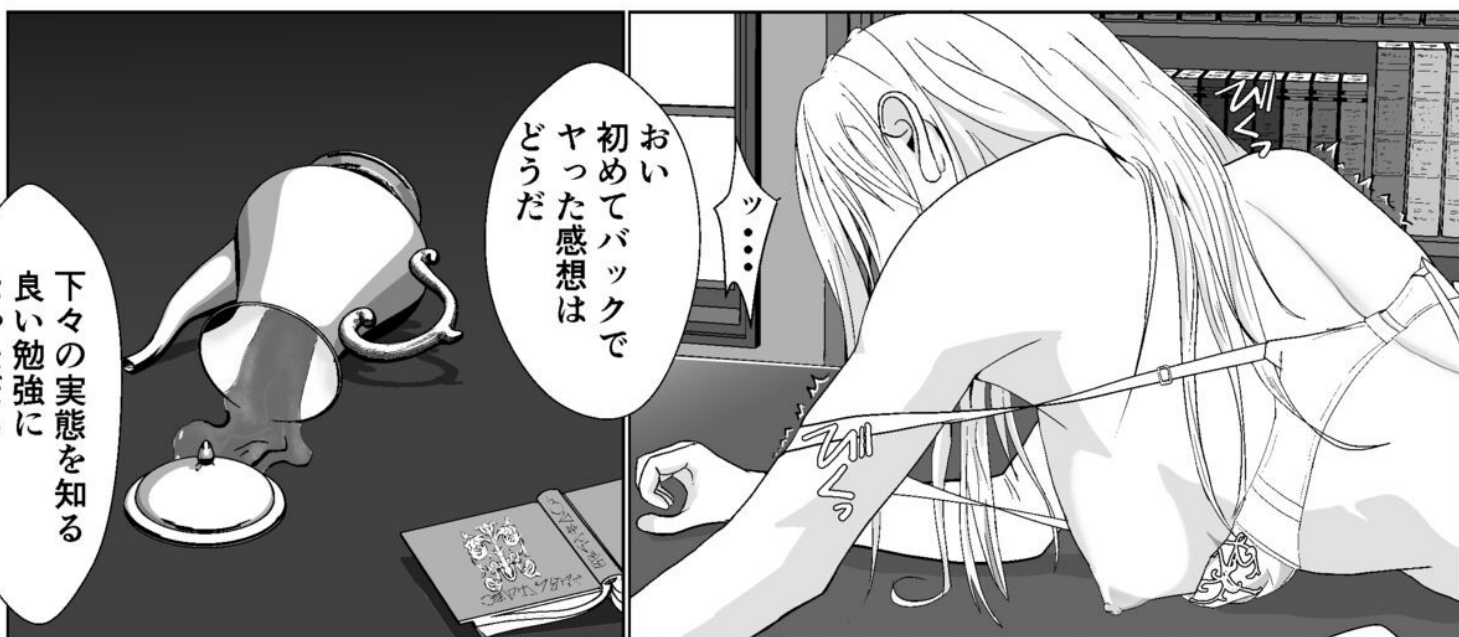
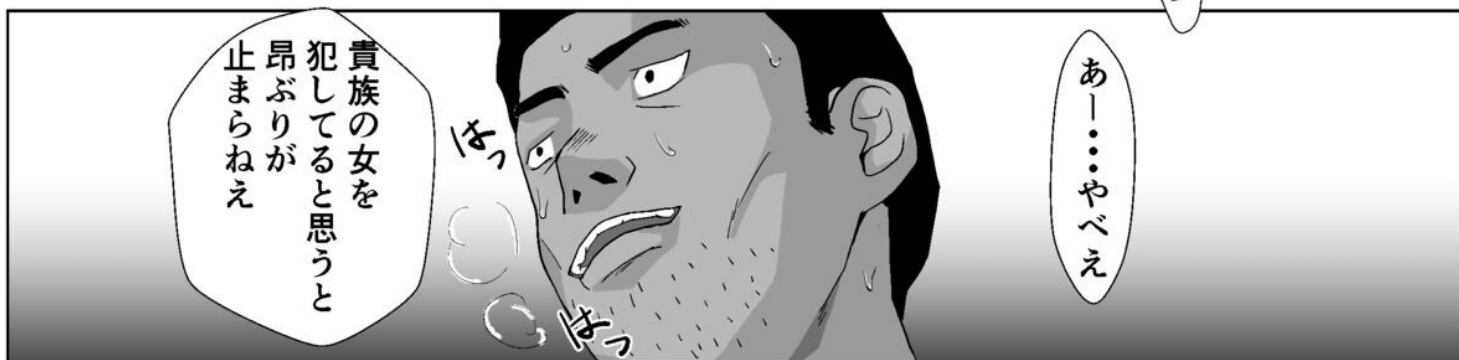
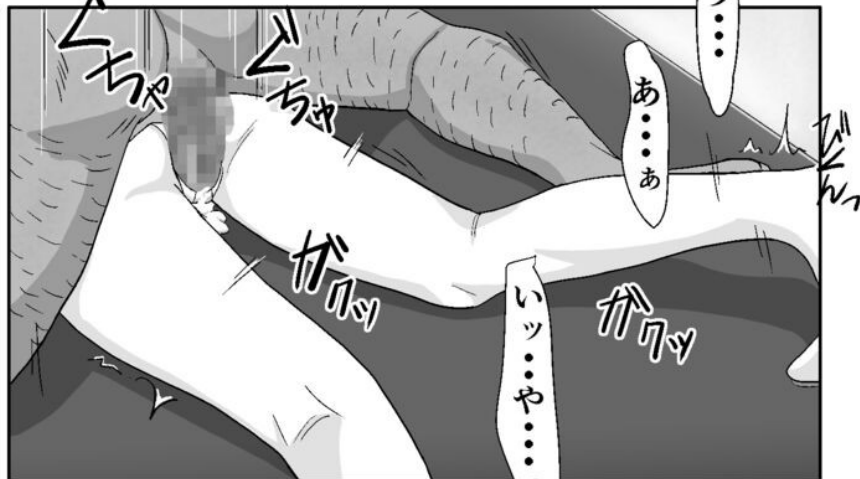
ガッ
グッ
グッ











殺してやる！

私の持つ
全てを使って

お前の存在を
必ず抹殺してやるわ！

ズ
ン
ッ

う
っ
く
!?

だいたい
チ○ポ突っ込まれた女が
凄んでもエロいだけ
だっつーの

確かにお前には
俺を消す力が
あるだろうさ

だが俺だって
タダじゃやられねえ

お前が奴隷の俺に
犯された様子は
ばっちり記録してる
からな

騒げば
この映像は
バスラー侯爵に
渡す

っ
!?

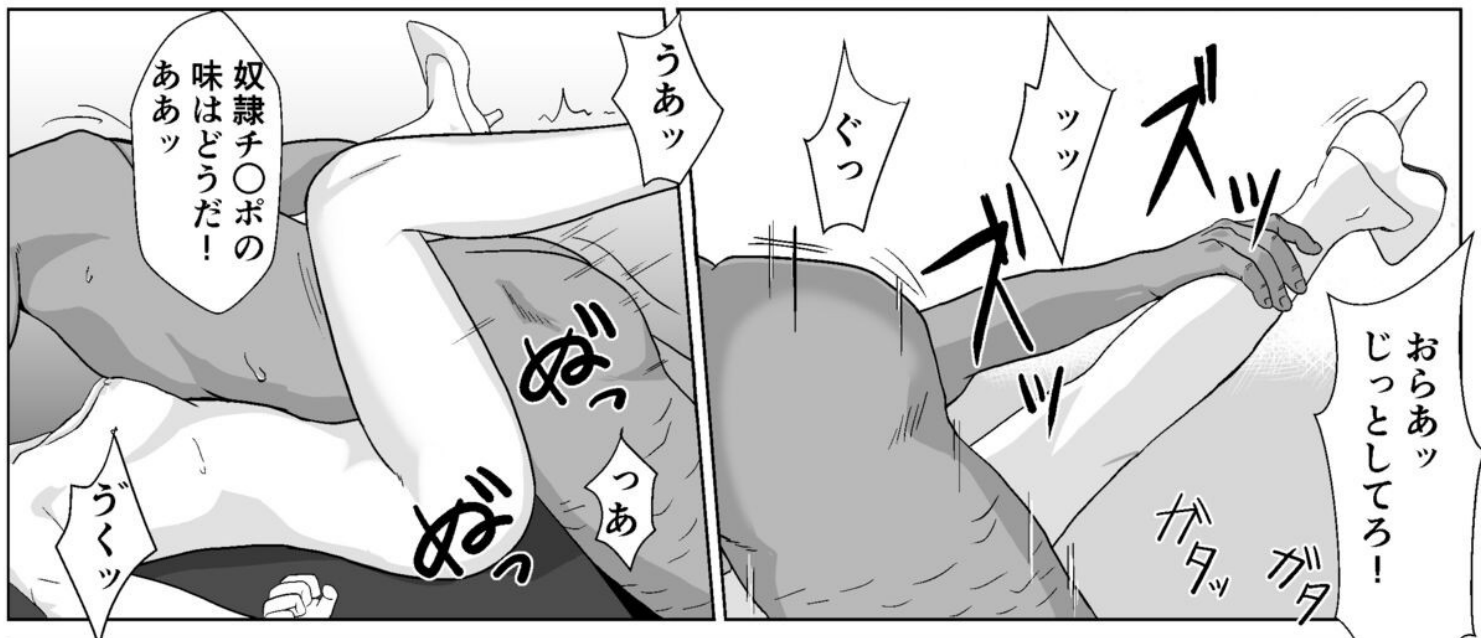
その前に俺を
暗殺してみるか？

たとえ証拠なんざ
なくてもこんな話が
貴族社会に漏れたら
名門貴族の旦那は
どう思うだろうな

時間はまだある
どうするかは
俺に犯されてる間に
ゆっくり考えろよ

だが
秘密ってのは
どこからか
漏れるものだけ





奴隷チ○ポの
味はどうだ!
ああッ

うあッ

ぐっ

ッ

ズ

ッ

おらあッ
じっとしてろ!

ハタッ

ガタ

ぐっ

ぐっ

っあ

うくッ

ああ、
伯爵夫人の
上品な膣穴は
クソ気持ち
良いぜ

中出しで
良い感じに
ぐちゃぐちゃ
だからだな

はっ

はっ

ぐっ

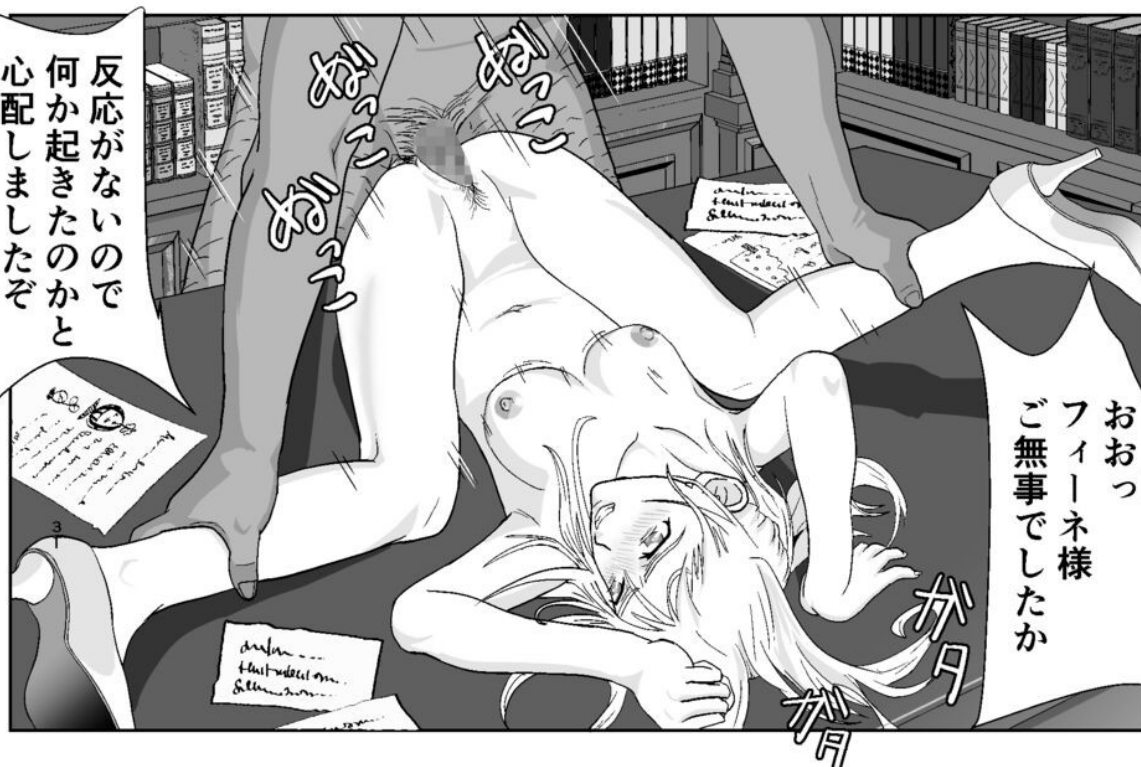
ぐっ

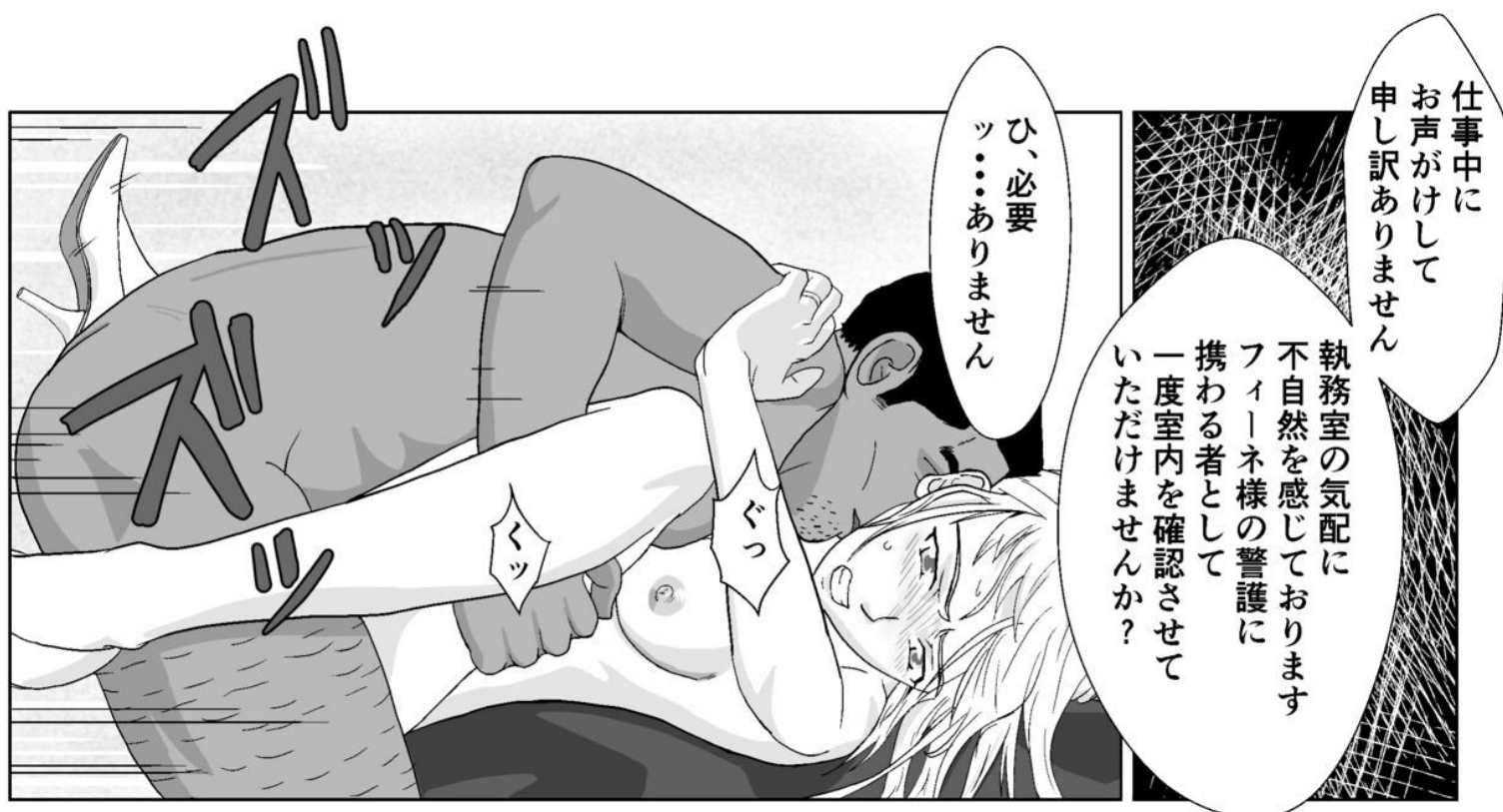
ギッ

ギッ

ッ







はっ
も、申し訳ありません
出過ぎた真似をしました！

アーベル伯爵様より
留守の間はくれぐれも
妻のフィーネ様を頼む
と念を押されていましたので
つい過剰に警戒し
勘違いしてしまったようです

失礼いたしました！

ガクッ
ガク

男は苦痛に耐え
声を押し殺す私を
嘲笑うかのように
執拗に奥を
突き上げてくる

っっ

漏れた精液が
互いの股間を濡らし
不快な音を響かせる

ずぬぬ

ばちゃん

あぐッ



今の声は
：フイーネ様
ですか？

いッ!?

すちゃっ
すちゃ

フイーネ様!?
どうなさいましたか

はっ
はっ

34
お願い
もうやめて！
声が
聞かれ
ちゃう！

だッ……め

具合が
悪いようでしたら
すぐに医師をーッ

っは

やめっ

ひッ

ギ
シッ

ギ
シッ

ギ
シッ

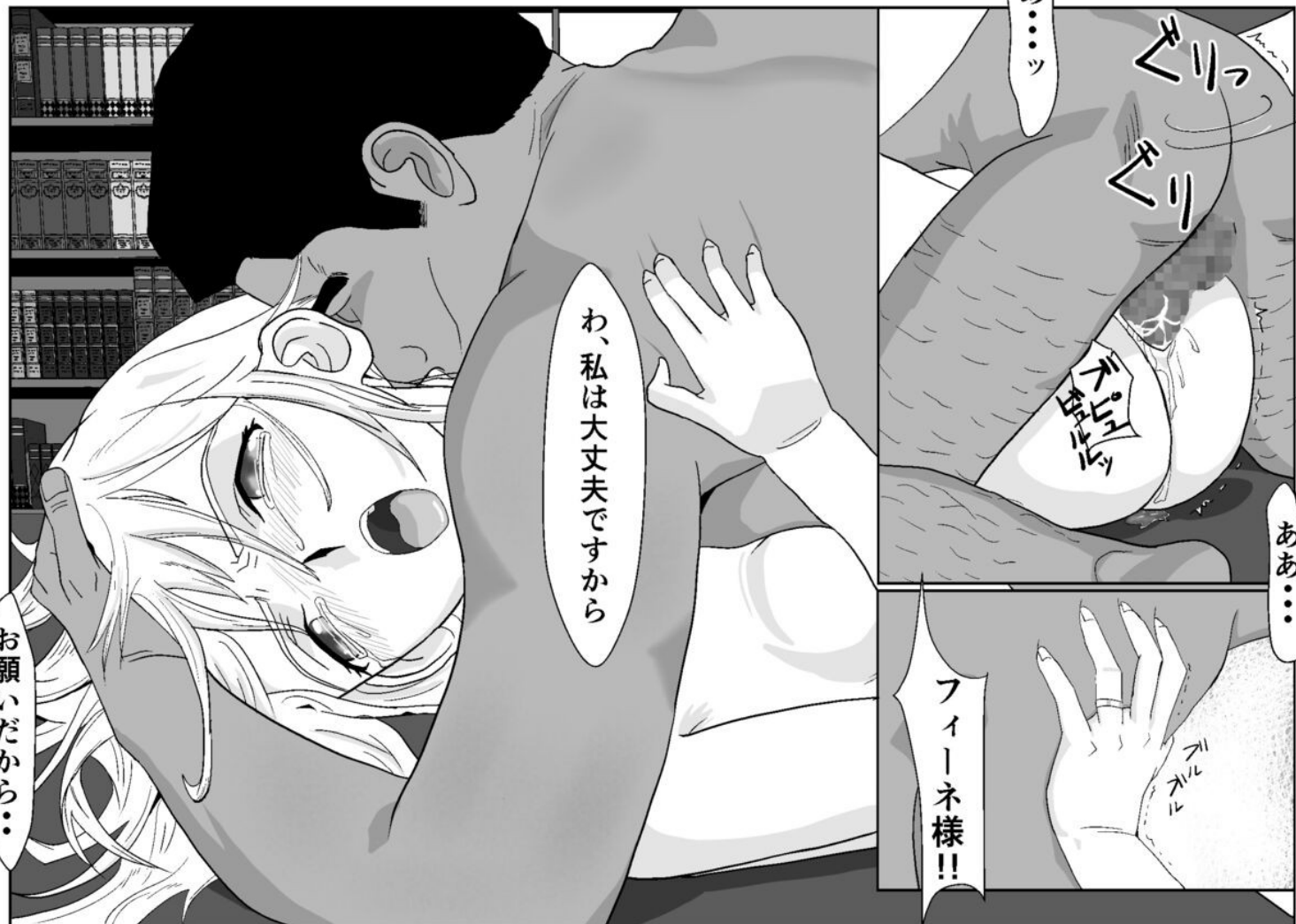
ど
ちゃんっ

んあッっ!?

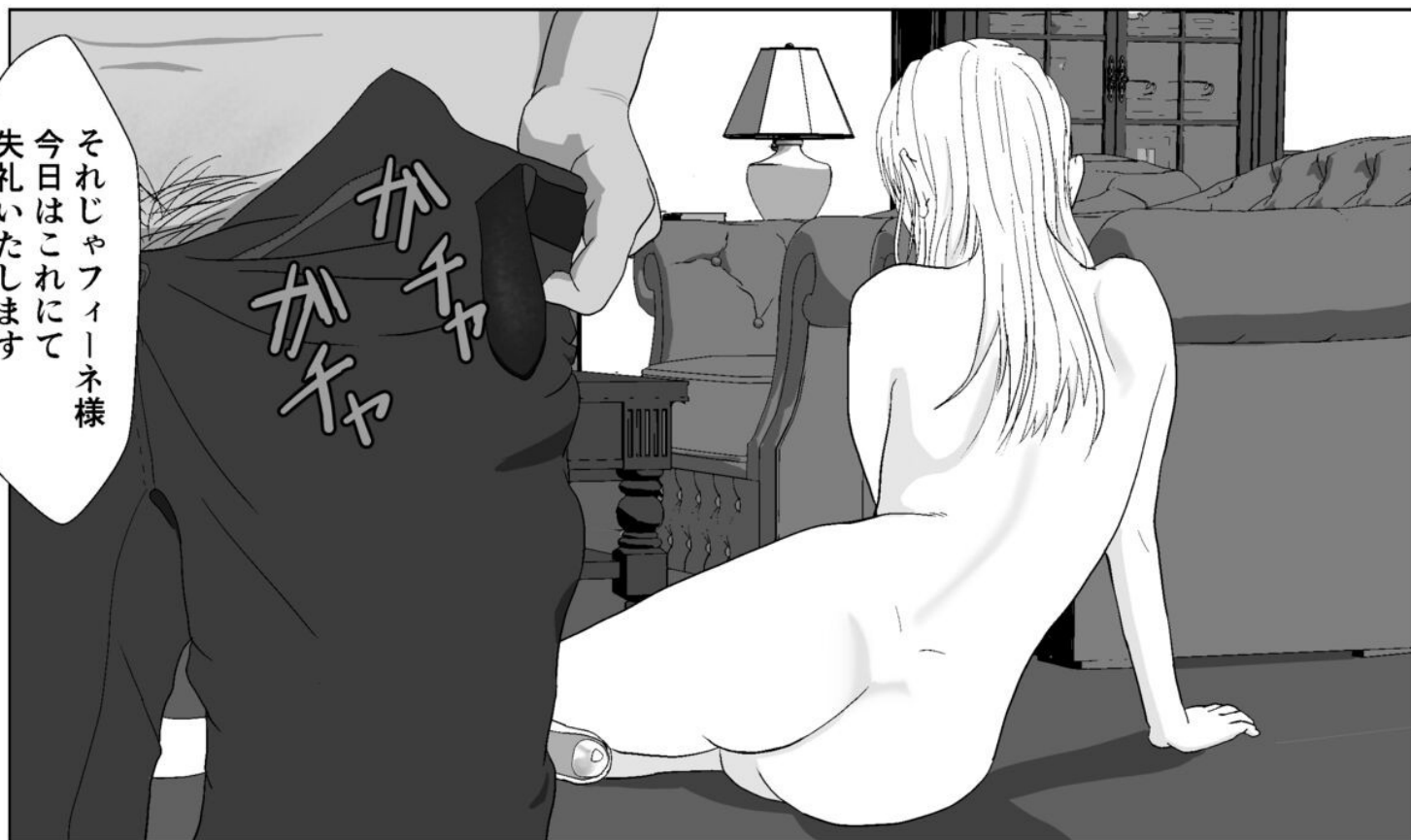
ど
ッ

ど
ッ

〜ッ
ッ

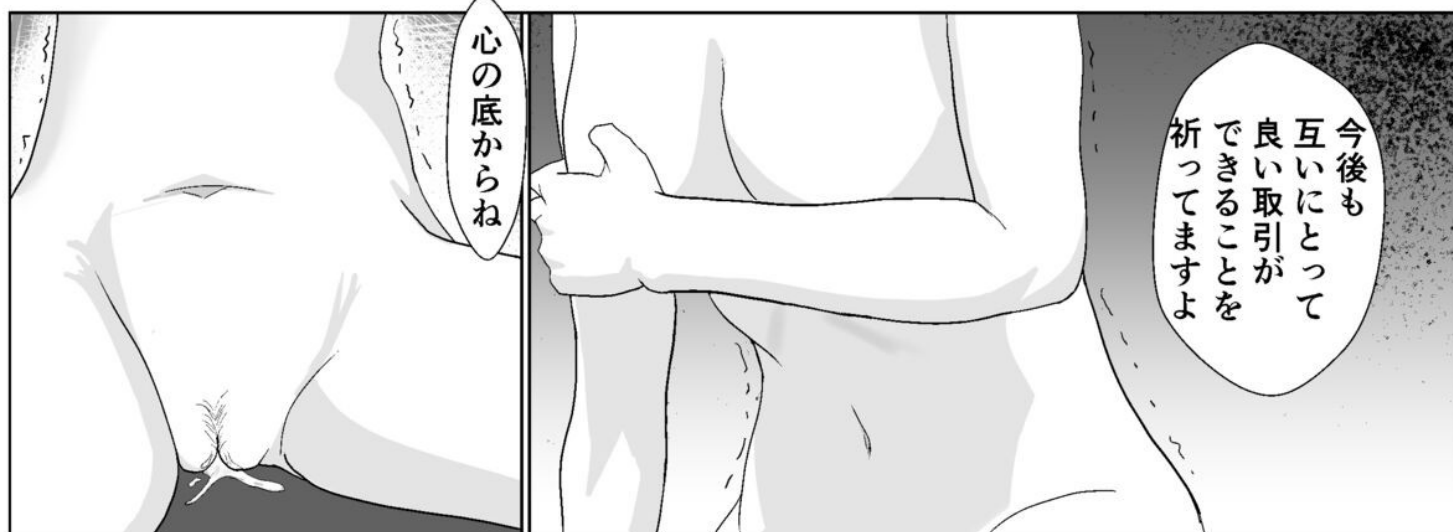


それじゃフィーネ様
今日はこれにて
失礼いたします



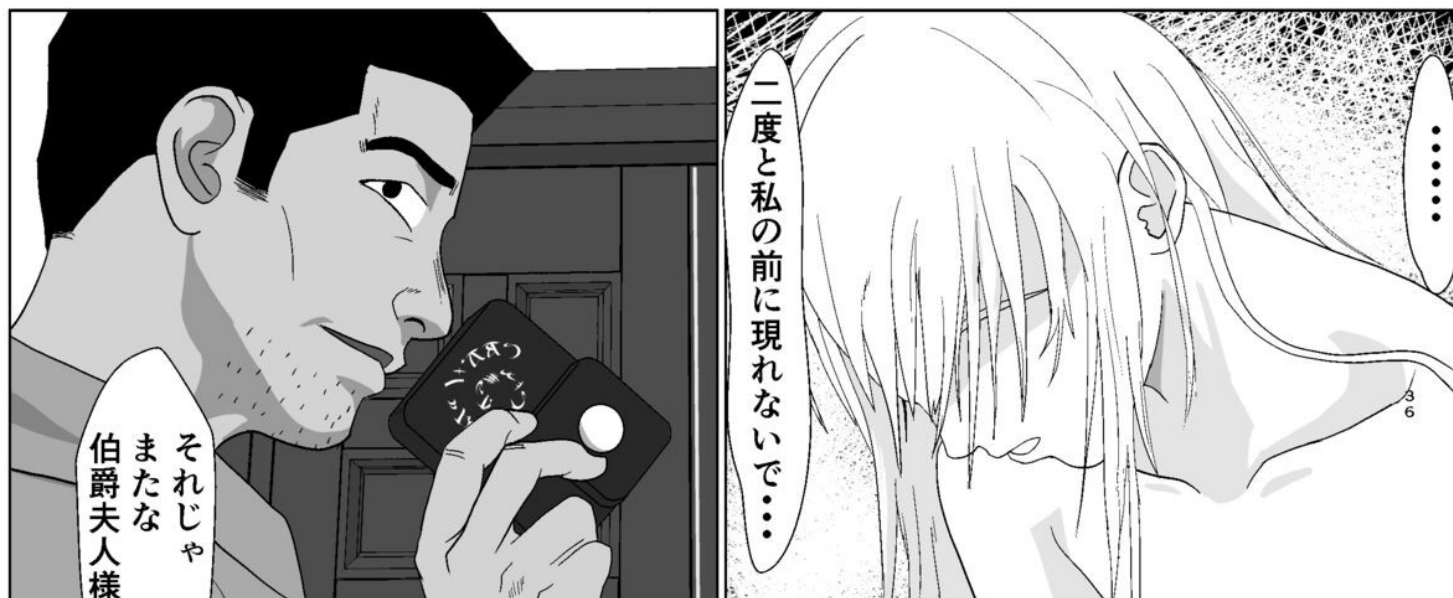
心の底からね

今後も
互いにとって
良い取引が
できることを
祈りますよ



二度と私の前に現れないで...

それじゃ
またな
伯爵夫人様



お買い上げありがとうございます

今回はファンタジーな設定で描いてみました
高貴な人とか盗賊とか女騎士とか色々描いてみたいキャラがあるので
今後はこのシリーズに登場させようかなと思ってます

ファンタジーな設定だったら時間停止物も描けそうですね
あれ好きなんですよ
でも自分の場合は時間停止中に動かないように我慢してる
女優さんの表情にエロスを感じるので漫画で表現するのは難しいかしら

次作は今作の続きを描く予定です。子を持つ人妻設定のヒロイン、
まだ色々描いて見たいエロがあるので

それでは

2021.9 紀山ハル